

### 3 施設計画

「情報」「学習」「鑑賞・創造」「交流」の各エリアの施設計画は、次のとおりとします。

#### (1) 情報エリア

##### ●情報広場

ポスターの掲示、チラシ等の展示のほか、情報機器を用いて様々な情報の提供を行います。展示スペース等を併設し、その他に相談カウンター、案内カウンター、放送スタジオなどを想定します。



##### ●図書館

蔵書数約10万冊の開架図書を備え、ゆとりのある開架スペースと閲覧席を整備し、気軽に利用できる環境に配慮します。また、視聴コーナーや電子資料コーナーなどを想定し、様々な資料の提供を目指します。



## (2) 学習エリア

### ●講義室

オープンユニバーシティ構想の中心施設として整備します。各種情報機器を備え、階段教室を想定するなど、多くの市民が同時に学習できる環境の整備を目指します。



大規模な講義室（中・大）

### ●研修室

各種講座、講演会、市民活動、民間・大学・他都市の生涯学習活動に対応した研修室を整備します。また、各種情報機器を備え、多様な学習環境の整備を目指します。



### ●ものづくり実習室

様々な、ものづくりができる特徴のある実習室を整備します。ホールで上演される演劇等の衣装・道具類の製作や、そのためのワークショップ等の利用も想定します。



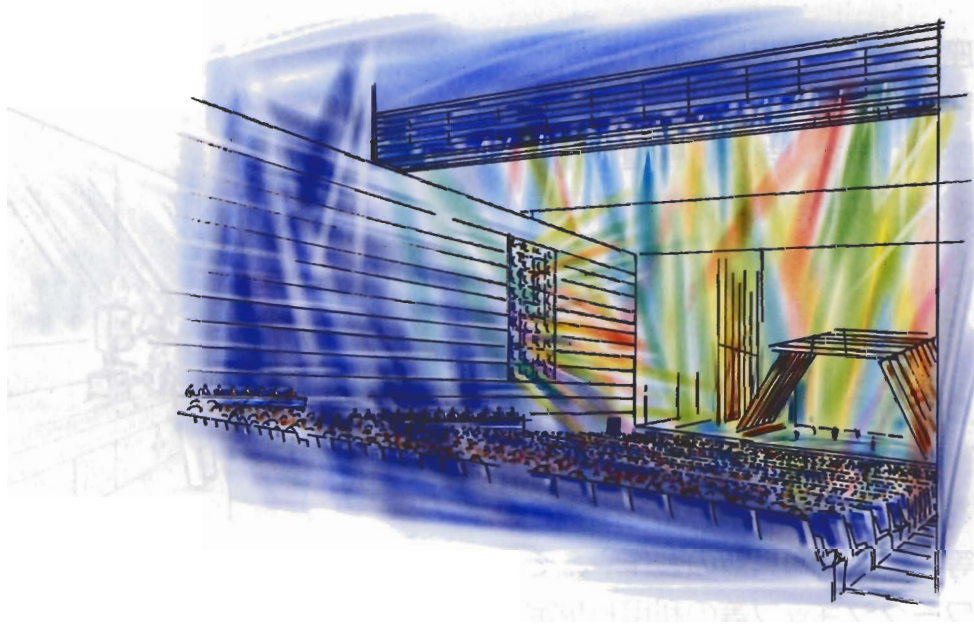
### ●多目的スペース

講座や成果発表の場として、ダンス・体操等の軽運動や合唱・合奏の練習などができる部屋を整備します。また、パネル等を備え、各種展示会の開催など多目的な使用を想定します。

### (3) 鑑賞・創造エリア

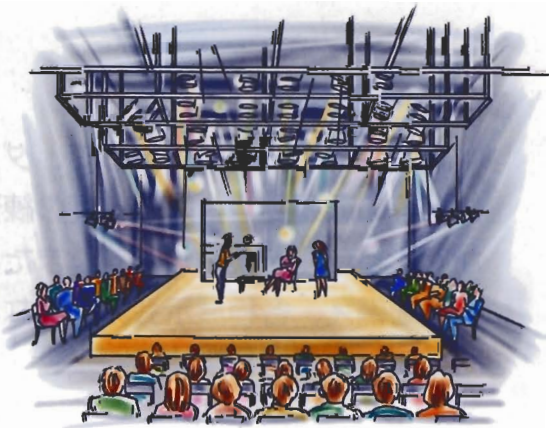
#### ●芸術ホール

演ずる者の生の声が、客席の一番奥まで届き、表情や衣装がはっきり見える客席数や、優れた演劇等の舞台公演を誘致できる規模などを考慮し、客席数約800席の演劇を主体としたホールの整備を目指します。演劇、ダンス、バレエ、舞踊、邦楽等の多様な公演や演出を可能にするため、広い主舞台と袖舞台を持ち、照明、舞台道具等の吊り物の充実した舞台設備と数も広さも十分な楽屋を持ちます。また、多様な演出に対応するため、仮設脇花道（すっぽん付）及び舞台迫（大・中迫）の整備を目指します。



#### ●アートスペース

自由で創造力に富んだ表現活動や実験的な取り組みができるように、舞台や客席の配置を自由に設定できる空間の整備を目指します。ここでは、演劇等舞台芸術の練習・創造のほか、講演会、映画会、ワークショップ等多様な使い方を想定します。



## (4) 交流エリア

### ●ロビー（交流スクエア）

芸術ホールが、使われていないときなどに、ホールのロビーを、ミニコンサートや展示などを行う、自由で気軽な発表の場、市民が集う交流の場として活用します。また、ここには、ショップ、カフェ等の設置も想定します。

### ●託児ルーム

学びや芸術文化活動で施設を利用する人の活動を支援するため、託児のためのスペースを提供します。

### ●ボランティア活動室

生涯学習・図書館・ホールボランティアなど、この施設で活動するボランティアスタッフ等が自由に利用できる専用室を整備します。

